

(お知らせ)

令和 7 年 8 月 2 9 日
防 衛 省

国産スタンド・オフ・ミサイルの早期整備等について

1. 防衛省・自衛隊は、我が国への侵攻部隊を早期・遠方で阻止・排除可能なスタンド・オフ防衛能力を強化することとしており、我が国を取り巻く戦後最も厳しく複雑な安全保障環境を踏まえ、より迅速にスタンド・オフ防衛能力を構築できるよう不断に取り組んでおります。
2. 国産スタンド・オフ・ミサイルの開発は、現在、順調に進捗しています。12式地对艦誘導弾能力向上型（地発型）については、令和6年10月に第1次発射試験を実施し、令和7年10月から第2次発射試験を米国で実施予定です。また、島嶼防衛用高速滑空弾については、令和6年8月～令和7年1月に第1次発射試験を、令和7年6月～8月に最終の発射試験を米国にて実施し、完了しています。
3. こうした開発の進捗状況等も踏まえつつ、国産スタンド・オフ・ミサイルの配備場所等について検討を行い、地発型の12式地对艦誘導弾能力向上型については、令和7年度及び令和8年度に健軍駐屯地（熊本県）に所在する第5地对艦ミサイル連隊に、令和9年度には富士駐屯地（静岡県）に所在する特科教導隊に配備を行うことを予定しています。
4. また、令和10年度以降に計画していた12式地对艦誘導弾能力向上型の艦発型及び空発型の運用開始についても、前倒しの検討を進め、令和9年度に行うこととしました。令和9年度に、艦発型については改修後の護衛艦「てるづき」で、空発型については百里基地（茨城県）に配備予定のF-2能力向上型で運用を予定しています。
5. 島嶼防衛用高速滑空弾については、これまで令和8年度から部隊に配備し、実践的な運用を開始する計画でしたが、令和7年度に富士駐屯地（静岡県）に所在する特科教導隊に配備した上で、同部隊を活用して、実践的な運用の開始を令和7年度に前倒しする予定です。また、令和8年度には、上富良野駐屯地（北海道）及びえびの駐屯地（宮崎県）に、島嶼防衛用高速滑空弾を運用する部隊を新編し、配備する予定です。
6. 防衛省として、引き続き、スタンド・オフ防衛能力の強化に向けて取組を進めてまいります。

スタンド・オフ防衛能力について

防 衛 省
令和7年8月

防衛力の抜本的強化の必要性

- 我が国は、**戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面**しています。国際社会においては、力による一方的な現状変更及びその試みが恒常的に生起し、日本周辺における軍備増強が急速に拡大しています。ロシアによるウクライナ侵攻のように、国際秩序の根幹を揺るがす深刻な事態が、将来、とりわけ東アジアにおいて発生することは排除されません。
- このような安全保障環境に対応するべく、力による一方的な現状変更を許さないため、防衛省としては、防衛力の抜本的強化の取組を進めているところです。

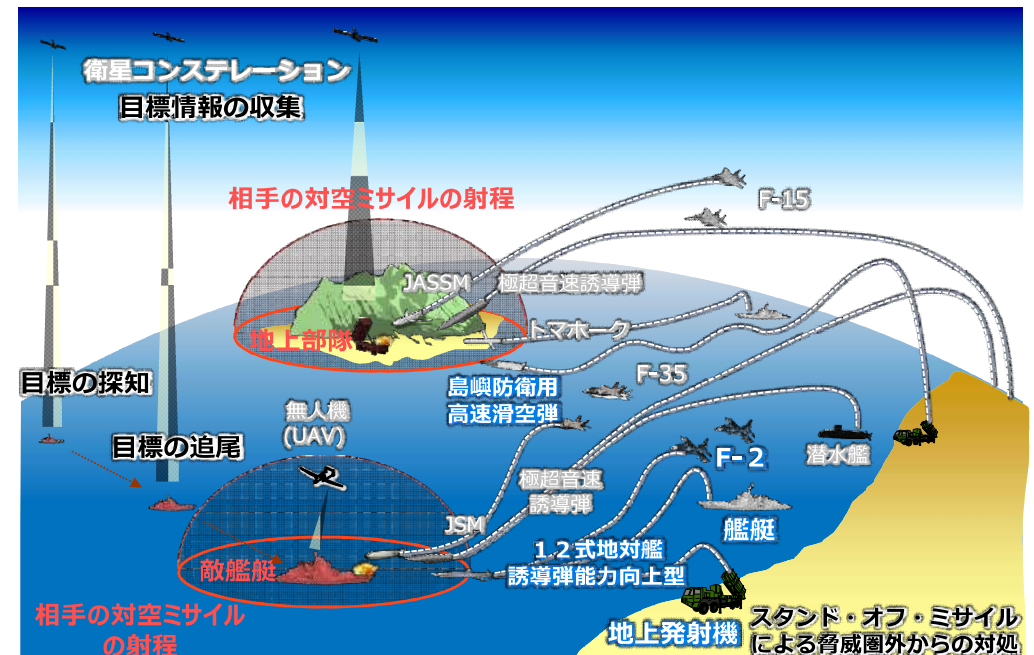
スタンド・オフ防衛能力の強化の必要性

- 諸外国のレーダー探知範囲や各種ミサイルの射程・性能は著しく向上しており、これらの脅威が及ぶ範囲は侵攻部隊の周囲数百km以上です。
- 我が国領域を守り抜くため、**島嶼部を含む我が国に侵攻してくる艦艇や上陸部隊などに対し、脅威圏の外から対処するスタンド・オフ防衛能力を抜本的に強化し、我が国への武力攻撃に対する抑止を向上させることが必要**と考えています。

スタンド・オフ・ミサイルの意義

- スタンド・オフ・ミサイルとは、島嶼部を含む我が国に侵攻してくる艦艇や上陸部隊等に対して、**遠方から対処することが可能なミサイル**です。
- これにより、各国の早期警戒管制能力や、各種ミサイルの性能が著しく向上していく中、**自衛隊員の安全を確保しつつ、我が国への攻撃を効果的に阻止することが可能**となります。
- 防衛力整備計画では、射程や速度、飛翔の態様、対艦・対地攻撃の性能、発射プラットフォームといった様々な点で**特徴が異なる様々なスタンド・オフ・ミサイルを整備することで、我が方の重層的な対応を可能とし、相手に複雑な対応を強いることで、我が国への武力攻撃そのものの可能性を低下させる**こととしています。

今後のスタンド・オフ防衛能力の運用（イメージ）



12式地対艦誘導弾能力向上型（地発型）の配備先について

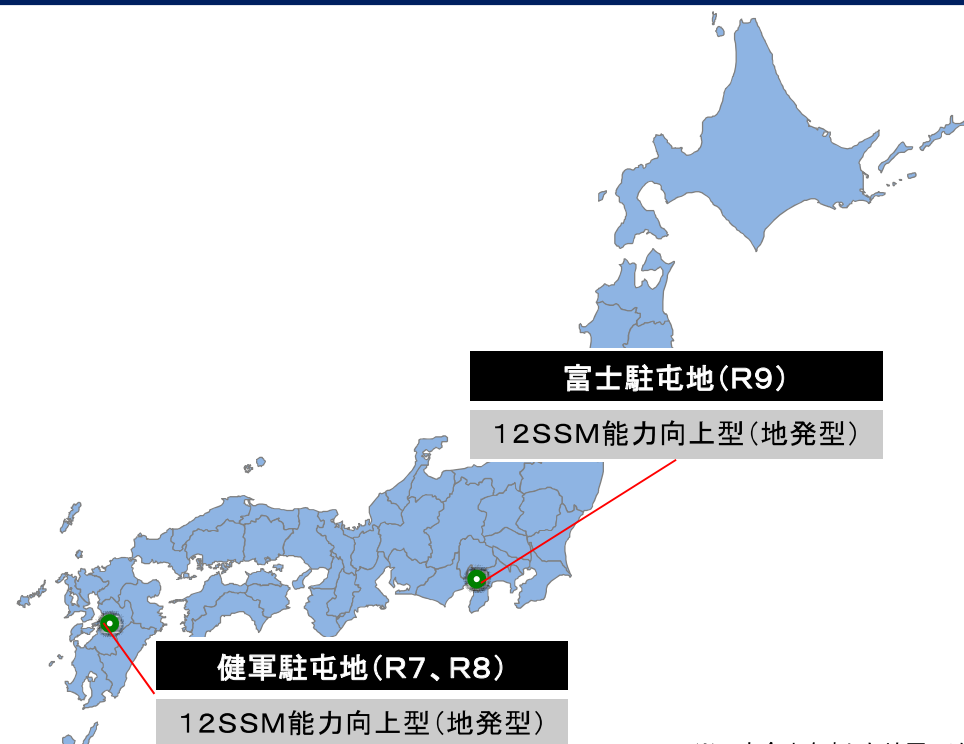
防衛省
令和7年8月

- 12式地対艦誘導弾能力向上型（地発型）は、陸上自衛隊の地対艦ミサイル部隊に装備し、我が国への侵攻に際して、遠方から火力を発揮して、洋上の敵艦船等を阻止・排除するために使用する装備品です。
- 配備先については、
 - － 我が国を守り抜くという強固な意思と能力を示すことによる抑止力の強化、
 - － 艦艇や上陸部隊の脅威を早期かつ遠方で阻止・排除等が可能な対処力の強化、
 - － 訓練環境や整備基盤等を総合的に踏まえ、今年度末及び令和8年度に、健軍駐屯地(熊本県)に配備させていただきたいと考えております。
- なお、要員の養成を更に加速して行うことができるよう、令和9年度には、要員教育等を担う富士駐屯地(静岡県)に配備する予定です。

12式地対艦誘導弾能力向上型(地発型)の地上装置(イメージ)



出典：陸上自衛隊ホームページ「令和7年度富士総合火力演習」



※日本全土を表した地図ではない